

危険物新聞

第 307 号

発行所 財団法人 大阪府危険物安全協会

発行人 川 井 清 治 郎

大阪市西区新町1丁目5-7

四つ橋ビル8階

TEL (531) 9717・5910

定 価 1部 50 円

次の試験は乙種全類 9月30日、近大で

大阪府では昭和54年度 第 2 回 危険物 取扱者試験を、9月30日(日) 近畿大学で、乙種全類について実施することになった。

- ▷ 試 験 9月30日(日)
- ▷ 試 験 場 近畿大学
- ▷ 受 付 9月4日と5日
- ▷ 受付場所 大阪府職員会館

受験準備講習は別紙のとおり、8月末頃より9月中旬にかけて、大阪、堺、茨木の各市で延7回行われ、夜間コースも実施される。

— 本会加盟協会々員の皆様へ —

最近、日本消防安全協会又は日本危険物安全協会より講習開催等の文書が郵送されているようですが、両協会共本会並びに傘下各市協会とは何等関係ありませんのでお知らせします。

本会では従前どおり、大阪府、府下各市消防本部後援のもと、別掲のように試験準備講習を開催しますので受講賜るようご案内申し上げます。

財団法人 大阪府危険物安全協会

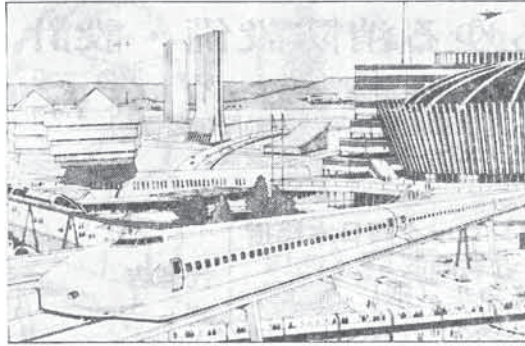
乙種41%、丙種70% 合格者 7月20日発表

大阪府では6月24日に実施した危険物取扱者試験の合格者を7月20日発表した。

受験者は、前回と比較すると乙種第4類で若干減り、丙種で増加した。合格率は乙種第4類で40.9%、丙種で69.9%とはば前回通りであった。



◎ 株式会社 初田製作所
 本社工場 / 大阪府枚方市招提町五丁目五番地
 千五七三電話〇七〇五六二八(代)
 大阪支社 / 電話〇六し四七三(四八七)〜四
 堺出張所 / 電話〇七二二二(一三四四四)



防災設備機器で
 未来をひらく
 《技術のハツタ》

増加している。

次に、月別の建物火災の出火件数をみると第11表のとおり、2月の4,382件を最高に、1月4,343件、3月4,106件、

12月3,767件と冬季から春先にかけて多く発生している。

建物火災の損害額の94.3%に達し、212万4,268㎡の建物が灰になった。


第11表 昭和52年月別建物火災出火件数

区分	月別	1	2	3	4	5	6	7
件数		4,343	4,382	4,106	3,538	3,405	2,439	2,685
割合 (%)		11.1	11.2	10.4	9.0	8.7	6.2	6.8
区分	月別	8	9	10	11	12	計	
件数		2,566	2,366	2,917	2,788	3,767	39,302	
割合 (%)		6.5	6.0	7.4	7.1	9.6	100.0	

第12表 用途別建物火災の損害状況

用途別	損害状況	出火件数			焼損面積 (㎡)	損害額 (百万円)
		昭和52年 (件)	昭和51年 (件)	増減率 (%)		
居	住	19,871	19,459	2.1	785,246	39,854
劇場・興行	場	123	151	△18.5	8,786	741
百貨店・マーケット		61	104	△41.3	2,659	190
旅館・ホテル		383	315	21.6	46,186	1,829
病院・診療所		208	185	12.4	6,464	343
社会福祉施設		44	54	△18.5	1,537	63
学校	校	472	444	6.3	64,952	1,842
神社・寺	院	213	249	△14.5	13,705	1,371
浴	場	78	79	△1.3	2,806	247
事務所	所	797	784	1.7	31,615	2,046
飲食	店	1,264	1,203	5.1	57,860	4,304
工場・作業	場	5,209	5,310	△1.9	481,716	32,654
倉庫	庫	3,330	3,296	1.0	246,631	11,527
車庫	庫	270	253	6.7	8,257	255
養畜	舎	600	625	△4.0	75,773	1,276
官公	署	120	95	26.3	2,923	77
その他		6,259	6,190	1.1	287,152	23,444
計		39,302	38,796	1.3	2,124,268	122,064

(注) 損害額は、百万円未満を四捨五入してあるため、各用途別の合計と計とが一致していない。




消防用設備

防災・設備・設計
施工・保守・点検
屋内外消火栓設備
スプリンクラー設備
ドレンチャー設備
泡消火設備
ガス消火設備
粉末消火設備

消火器具一式
避難設備
自動火災報知設備
非常放送設備
漏電警報器
防災設備全般
安全衛生保護具機器
公害防止機器

SAFETY AND FIRE ENGINEERING



株式会社 マルナカ

本社 〒530 大阪市北区中崎西4-2-27
TEL (06)371-7775(代)・372-3277(代)

東京支店 〒112 東京都文京区千石4丁目24番4号
TEL (03)944-0161(代)

神戸支店 〒653 神戸市長田区東尻池町3の4の19
TEL (078)681-5771

6 LPガス等による火災

(1) LPガス、都市ガスによる火災の現状

近年、LPガス、都市ガスの普及に伴い、これらによる火災は増加の傾向にある。このうち、ガス器具及びガス設備の使用に伴って発生した火災の件数の推移は第13表のとおりである。

昭和52年中の火災件数は7,410件で前年より若干増加している。このうちコンロによる火災が最も多く3,949件で全体の約53%を占め、次いで風呂かまどによる火災が2,114件で全体の約29%を占めている。またガスの種類別では、LPガスが約54%、都市ガスが約46%となっている。

第14表 ガス別火災件数

Table with 6 columns: Gas Type, 48, 49, 50, 51, 52. Rows include LP Gas, City Gas, Total, Others, and Grand Total.

また、これらの火災のうち、LPガス等が漏えいしたのちに電気機器の火花等が発火源となりLPガスに着火して爆発的に火災になったものの火災の件数の推移は第67表(省略)のとおりである。昭和52年中の火災件数は、1,412件で前年より若干増加しているが、このうちLPガスによる火災は、1,123件で全体の約80%、都市ガスによる火災が289件で全体の約20%となっており、LPガスによる火災の比率が極めて高いが、これはLPガスが空気より重い性質を有するため漏えいした場合に滞留しやすいこと、着臭の度合いが薄く漏えいに気付きにくいこと等により火災になる例が多いことに起因している。また火災による死傷者数はLPガスが死者83人、負傷者1,047人、都市ガスが死者27人、負傷者532人となっており、昨年に比べていずれも増加しているが、特に昭和52年12月30日に発生した西宮市のマンションの火災ではガスせんを完全に締めなかったためにLPガスが漏えい、爆発して火災となって死者5人を出した。

(2) その他のガスによる火災の現状

昭和52年中のLPガス、都市ガス以外のガスによる火災は256件で、そのうち、アセチレンによるもの179件、水素によるもの12件等が目立っている(第14表参照)。

第13表 ガス器具及びガス設備の使用による火災件数の推移

Table with 11 columns: District, Year, 48, 49, 50, 51 (LP Gas, City Gas, Total), 52 (LP Gas, City Gas, Total). Rows include Kitchen, Bath, Industrial, and Total.

Advertisement for Yamato Fire Alarmers. Features the slogan '煙をキャッチ! 即。警報!!' and 'けなけな'. Includes a list of product features and company information for Yamato Fire Alarmers Co., Ltd.

危険物等かん定結果一覧

この一覧表は、業界等から提出された資料を、大阪市消防局で引火点等の測定を行い、鑑定したものです。なお、資料名は依頼者から提出されたもので、資料名の裏付定性分析等を行われていません。

大阪市消防局

試 料 名	引火点 (°C)	燃焼点 (°C)	該 当 品 名	備 考
アクトコール GR-16A	218	231	第 4 石油類	
アクトコール GR-48C	229	257	〃	
アクトコール GR-75	208	228	〃	
アクトコール P-460	151	159	第 3 石油類	
アクア No. 7010 白 希釈塗料	—	—	—	
アクア No. 7010 白 生塗料	—	—	—	
アクア No. 7010 白 NH-50	50.0		(合成樹脂エ ナメル塗料) 第 3 石油類	
RK体	29.5	33	第 2 石油類	
インスタフィット G-05	—	—	—	
ウルトラゾール 2315	—	—	—	
ウルトラゾール 2613	—	—	—	
〃 2633	—	—	—	
AMCO. D. White BCX-8287	—	—	—	
AMCO. S. Brown BCX-8323	—	—	—	
エレクロン No. 7100 Aグレ	—	—	—	
FA-100	24.5	29	第 2 石油類	
AM-200	23.5	28	〃	
No. TGA-32 エアゾール	-20	-20	第 1 石油類	
XSA-11	66.5		第 2 石油類	
XSA-12	—	—	—	
XSA-13	72.5		第 3 石油類	
XSA-14	—	—	—	
XSA-15	—	—	—	
XSA-16	—	—	—	
エレクロン No. 9000 Dグレー (調整液25)	—	—	—	
塩ビ系加熱硬化型 シール剤	—	—	—	
エマルジョン樹脂 瓦用塗料レッド	—	—	—	
エマルジョン樹脂 瓦用塗料 白	—	—	—	
XSA-1	180	200	第 3 石油類	
XSA-2	—	—	—	

試料名	引火点 (°C)	燃焼点 (°C)	該当品名	備考
XSA-3	—	—	—	
エマロンED # 300黒 (建材用)	—	—	—	
FR 体	28	30	第2石油類	
FP 体	29.0	38	〃	
クボタコート # 400	—	—	—	
クボタコート # 4001	—	—	—	
クボタコート EM # 3000 基剤	—	—	—	
クボタコート EM # 3000 硬化剤	—	—	—	
クリーナ No. 1	—	—	—	
クリーナ No. 2	—	—	—	
クリーナ No. 3	64.0		第2石油類	
クリーナ No. 1	—	—	—	
クリーナ No. 2	16.5	37	第1石油類	
クレカット NET 500B	176	189	第3石油類	
クレカット L 6505	182	204	〃	
Colosid c special (メッキ用光沢剤)	—	—	—	
K-1002 (No. 81212)	—	—	—	
K-1002 (No. 81212-5)	—	—	—	
KBK No. 68 硬化剤 (ノラポンドE) B	—	—	—	
KBK CAT	48.5	57	第2石油類	
KBK NY-A	7.0	12	第1石油類	
KBK NY-B	6.5	11	〃	
K-200 (K-2)	14.0	24.0	〃	
クリーナ No. 3	25.0	103	第2石油類	
久保田電々1号	-4.0	2.0	第1石油類	
硬化触媒 # 150B	54.0		第2石油類	
硬化触媒 # 150B-1	55.5		〃	
硬化触媒 # 150B-2	54.0		〃	
硬化触媒 # 150B-3	53.0		〃	
硬化触媒 # 150C	58.0		〃	

空調設備機器製造・販売

オイルタンク用液面計
遠隔式警報ユニット液面計
各種液体タンク用液面計
フロートスイッチ・微圧スイッチ
タンク部品一式

独自の技術により、正確・安全
ローコストを追求する

GIKEN

TEL 06(253)0414(代表)

株式会社技研

〒542 大阪市南区北炭屋町27番地 野々垣ビル ☎ 253-0414~5

違法貯蔵の防止 石油の売買は合法設備で

最近石油事情悪化に伴う値上がりや品不足を見込んでの思惑から、関係事業所や一般消費者でも石油製品の買いだめをはかり、危険物関係法令の違反貯蔵取扱いが懸念されている。

折りから、兵庫県、京都府において相いついで石油類の買いだめによる大量無許可貯蔵が摘発されるに及び、いよいよその懸念が実現化されだした。

消防機関ではこれら違反を未然に防止するため、関係者に強く要望するとともに、違反者には告発等の措置がとられるようである。

とくに販売業者、メーカーは、相手方の貯蔵取扱設備を配慮の上、いやしくも違法貯蔵について共犯とみられるような行為のないよう心掛けられたい。

なお、平常の貯蔵能力を超えて貯蔵せざるを得ないときは、設備の増設をはかるなり、仮貯蔵仮取扱の合法的手段を講じた上で貯蔵取扱をすべきである。

大阪市消防局機構改革

危険物課二係制に拡充

大阪市消防局ではこのほど機構の一部を改革した。すなわち、機動査察隊を廃止し、予防課を予防査察課と拡充、一係制の危険物課に規制係と審査係の二係を設けた。これに伴う人事異動は次のとおり。

<部長級>

▷総務部長 小川孝雄(総計局調整課長) ▷消防学校

長 杉村喜久男(総務部学校長) ▷北署長 中尾清一(南署長) ▷東署長 松本七郎(北署長) ▷南署長 山西朝男(東署長) ▷設備課長 米谷重雄(機動査察隊長) ▷市長部局へ 大隅周一郎(総務部長)

<課長級>

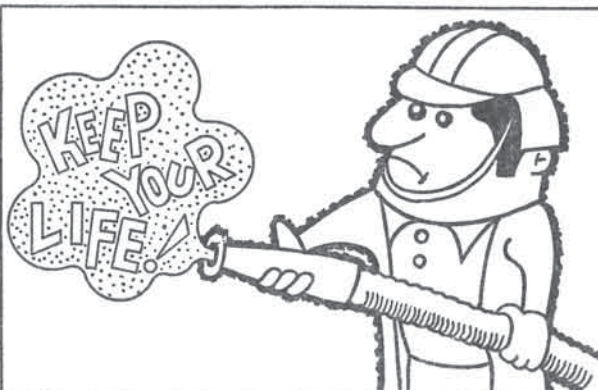
▷総務部主幹 城代清幸(土木局主幹) ▷総務部主幹 立石一男(総計局主幹) ▷総務部主幹 西山洋(人教課) ▷予防査察課長 本田勝彦(予防課長) ▷予防部主幹 石田繁三(防災研究係長) ▷予防部主幹 松下保(査察班長) ▷警防部主幹 森本吉彦(検査係長) ▷都島署長 山本大吉(旭署長) ▷西副署長 片桐由夫(西成副署長) ▷淀川署長 井上雅美(東住吉署長) ▷生野署長 林勝美(主幹) ▷旭署長 八幡定年(鶴見署長) ▷鶴見署長 大倉久雄(都島署長) ▷東住吉署長 吉川幸一郎(生野署長) ▷西成副署長 成尾重敏(西副署長)

<関係係長級>

▷危険物課規制係長 秋田正巳(査察隊) ▷同課審査係長 中村寿宏(危険物課)

河内長野市消防本部で弁論大会

河内長野市消防本部では、今年で第7回目を迎えた消防職員弁論大会を、7月7日午前9時30分から市民会館で開催、消防士長の部池田弘「市民と救急」、消防士の部寺田敏一「時の流れ」の両氏が優賞、消防長、協会長等より賞状と楯とが贈られた。



消防機器の

トップ・メーカー

消防自動車から消火器まで



森田ポンプ株式会社

本社 大阪市生野区小路東5-5-20
☎ 06 (751) 1 3 5 1 (大代表)

危険物取扱者養成講習ご案内

昭和54年度第2回危険物取扱者試験実施に際し、受験者の予備知識向上のため、次のとおり受験準備講習会を開催いたします。

1. 日時・会場

期別	講習日	時間	会場	
1期(全類)	9月3日(月)、6日(木)、7日(金)	午前9時30分～4時	大阪科学技術センター	
乙種 4類	2期	9月6日(木)、14日(金)	午前9時30分～4時	〃
	3期	9月3日(月)、10日(月)	午前9時30分～4時	大阪府農林会館
	4期	8月31日(金) 9月14日(金)	午前10時～4時30分	堺市民会館
	5期	9月4日(火)、18日(火)	午前10時～4時30分	〃
	6期	9月5日(水)、11日(火)	午前9時30分～4時	茨木市商工会館
	7期(夜)	9月4日(火)、7日(金)、12日(水)	午後5時30分～9時	大阪府中小企業文化会館

2. 申込方法

所定の申込書に会費を添え、次の申込期間申込所で申込み、テキスト、受講票、受験願書用紙を受領のこと。会場及び郵送での申込みは一切受け付けません。

各講習会場は定員制につき、各申込所にそれぞれ期別定員の割当てをしますから、申込期間中各申込所においても定員に達し次第満員締切りさせていただきます。

3. 受付期間と場所

受付場所	日時
岸和田市消防本部内	岸和田市火災予防協会 8月27日(月)午後2時～4時
豊中市消防本部内	豊中防火安全協会 8月27日(月)午前9時半～11時半
茨木市消防本部内	茨木市災害予防協会 8月27日(月)午後1時半～4時
東大阪市西消防署内(近鉄・小阪駅北へ6分)	東大阪市西防火協力会 8月28日(火)午前9時半～11時半
守口市・門真市消防本部内(地下鉄・守口駅前)	守口門真防火協会 8月28日(火)午後2時～4時
堺市消防署内(阪堺線・大小路駅前)	堺市危険物協会 8月28日(火)午後1時半～3時
地下鉄・四ツ橋最北寄出口(四ツ橋ビル8階)	大阪府危険物安全協会事務局 8月30日(木)午前10時～4時

(注) 各受付場所とも、昼食時は避けて下さい。

4. 会費 (テキスト代を含む、ただし4類以外の方は、別に問題集(300円)を購入のこと)

	会員	会員外	7期は各夜間割増500円。
乙種	5,000円(4,000円)	6,000円(5,000円)	

乙種テキスト代: 法令集(700円)、危険物物理化学(700円)、問題集(700円)、4類以外各論問題集(300円)